

## 第7回気象ビジネスフォーラム開催報告

令和5年2月22日(水)に「第7回気象ビジネスフォーラム～気象データと企業防災・BCP～」をオンライン開催し、会員・非会員合わせて全国から約490名の方に参加いただきました。

近年、我が国では気象災害が激甚化・頻発化し、企業の拠点やサプライチェーンにおける被害が生じています。今後も気候変動により気象災害のリスクは高まると予測されており、企業はこれまでの想定を超える気象災害の発生も見据え対策することが必要となっています。このような中、今回のフォーラムでは、企業活動における防災や事業継続をテーマとして、最新の話題や企業の取組に関する講演、気象情報やデータ活用の展望に関するトークセッションを行いました。

フォーラム冒頭、豊田国土交通副大臣から、「気候変動に伴い気象災害リスクが増大する中、企業の防災や事業継続の取組において気象データの活用がより一層進み、我が国の産業活動全体の強靱性がさらに高まることを期待している」との挨拶をいただきました。また気象業務振興議員連盟会長の古屋衆議院議員から、「気象ビジネスには無限の可能性があり、皆さんの創意工夫で頑張ってもらいたい」との応援メッセージをいただきました。同議員連盟の猪口邦子参議院議員からは今回のフォーラム開催への祝電をいただきました。



豊田国土交通副大臣によるご挨拶



古屋衆議院議員によるご挨拶

基調講演では、東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センターの田中淳特任教授、日本経済団体連合会ソーシャル・コミュニケーション本部の山田佑上席主幹から、企業防災・BCPの動向や、企業に求められる取組を紹介いただきました。また講演では、ヤフー株式会社メディア統括本部の堤浩一朗企画リーダーから防災気象情報を途切れなく提供し

続けるための取組、東日本旅客鉄道株式会社防災研究所 四宮卓夫所長から気象データを活用して河川氾濫に対する鉄道車両の避難判断を支援するための方法の開発について紹介いただきました。

トークセッションでは、東京大学大学院情報学環の越塚登教授（WXBC 会長）をモデレーター、東京大学大学院情報学環の田中淳特任教授、ヤフー株式会社の堤浩一朗企画リーダー、東日本高速道路株式会社 管理事業本部 防災・危機管理チームの矢崎敏之チームリーダー、気象庁情報基盤部情報利用推進課気象ビジネス支援企画室の竹内綾子室長をパネリストとして、企業による防災や事業継続を進める上での企業間連携、各企業の取組、その中での気象情報・データの活用について議論を行いました。トークセッションの冒頭、東日本高速道路株式会社の矢崎敏之チームリーダーから、気象情報を活用した道路管理や予防的な通行止め等に関する取組の紹介も行われました。



トークセッションの様子

その他、初の試みとして、休憩時間に WXBC 法人会員の取組紹介スライドを上映し、希望のあった法人会員 14 者から気象ビジネスに関するさまざまな取組が紹介されました。

講演やトークセッションの様子は「気象ビジネス推進コンソーシアム（WXBC）」の YouTube チャンネルで公開しておりますので、ぜひご覧ください。

第 7 回気象ビジネスフォーラム（YouTube 再生リスト）

[https://www.youtube.com/playlist?list=PL2KiA3sLodhkrh\\_qRM7Mukb4W3Qpnnfy](https://www.youtube.com/playlist?list=PL2KiA3sLodhkrh_qRM7Mukb4W3Qpnnfy)

今後も WXBC は気象データの利活用促進、気象データを扱える人材の育成支援、気象データを有効活用した既存ビジネスの効率化・新規ビジネスの創出支援等に積極的に取り組んでいきます。